量子力学 II 演習 問題 (第 4回)

樋口 さぶろお*

1996年11月7日

[4-1] 角運動量代数の復習

角運動量代数 $[S_x,S_y]=i\hbar S_z$ (あとは cyclic) を考える. $S^2=S_x^2+S_y^2+S_z^2$ と S_z の同時固有状態が考えられるのだった. その, 規格化された同時固有状態を, $|jm\rangle$ とかく:

- (1) $S^2 |jm\rangle = j(j+1)\hbar^2 |jm\rangle$,
- (2) $S_z |jm\rangle = m\hbar |jm\rangle$,
- $(3) \quad \langle jm|jm\rangle = 1.$
 - 1. $S_{\pm} := S_x \pm i S_y$ とおく. $[S_z, S_{\pm}] = \pm \hbar S_{\pm}$. を示せ.
 - 2. 上を用いて, $S_{+}|jm\rangle \propto |j|m\pm 1\rangle$ を示せ.
 - 3. 状態 $S_{\pm} |jm\rangle$ を規格化定数を求め, $S_{\pm} |jm\rangle = \sqrt{(j\mp m)(j\pm m+1)}\hbar |j|m\pm 1\rangle$ を示せ.

Hint. 状態 $|jm\rangle$ は $S_x^2+S_y^2={m S}^2-S_z^2$ の固有状態.

[4-2] 角運動量の合成

 $\mathrm{Spin}\ 1$ を持つ 2 つの (区別できる) boson i=1,2 があり、その spin 演算子を $S_i=(S_{ix},S_{iy},S_{iz})$ とかく、 S_1^2 と S_{1z} の同時固有状態を $u_m(m=-1,0,+1)$ とし、 S_2^2 と S_{2z} の同時固有状態を $v_m(m=-1,0,+1)$ とする.

すなわち

(4)
$$\mathbf{S}_{1}^{2}u_{m} = 1(1+1)\hbar^{2}u_{m} \quad S_{1z}u_{m} = m\hbar u_{m}$$

 $\mathbf{S}_{2}^{2}v_{m} = 1(1+1)\hbar^{2}v_{m} \quad S_{2z}v_{m} = m\hbar v_{m}$

とする (いわば, $u_m,v_m\equiv |j=1,m
angle$). 演算子 $m{S}=(S_x,S_y,S_z)$ を $m{S}=m{S}_1+m{S}_2$ と定義する.

^{*}Internet address: hig@rice.c.u-tokyo.ac.jp URL: http://rice.c.u-tokyo.ac.jp/~hig/, へや: 駒場 4 号館 413B(学生室の隣) 氷上研究室, でんわ: (03)54.54.67.35

- 1. 状態 u_1v_1 が S^2 , S_z の同時固有関数であることを示せ. 固有値は何か. 式
 - (5) $2S_1 \cdot S_2 = S_{1+}S_{2-} + S_{1-}S_{2+} + 2S_{1z}S_{2z}$

が有用かもしれない $(S_{+} := S_{x} \pm \sqrt{-1}S_{y})$.

- 2. 状態 u_1v_1 に S_- を繰り返し作用させたものは、また S^2, S_z の同時固有状態であり、j=2 の 5 重項をなす、これらの固有状態を求め、規格化せよ、
- 3. 他に, j=1 の 3 重項, j=0 の 1 重項がある. これらに属する状態を求めよ.
- [4-3] 角運動量の合成と Clebsch-Gordan 係数
 - 2 つの角運動量 $J_1 = (J_1^x, J_1^y, J_1^z), J_2 = (J_2^x, J_2^y, J_2^z)$ を考える. 交換関係は、
- (6) $[J_a^i, J_b^j] = i\hbar \epsilon_{ijk} J_a^k \delta_{ab}$ (a, b = 1, 2, i, j, k = x, y, z)

である. 全角運動量を $J = J_1 + J_2$ とする.

- 4 つの演算子 $J_1^2, J_2^2, J_1^z, J_2^z$ は互いに可換なので、規格化されたこれらの同時固有状態 $|j_1,j_2;m_1m_2\rangle$ を考えるのは自然である:
- (7) $J_a^2|j_1j_2;m_1m_2\rangle = j_a(j_a+1)\hbar^2|j_1j_2;m_1m_2\rangle,$
- (8) $J_a^z | j_1 j_2; m_1 m_2 \rangle = m_a \hbar | j_1 j_2; m_1 m_2 \rangle.$
- 一方、別の4つの演算子 $J_1^2, J_2^2, J^2, J^z = J_1^z + J_2^z$ も互いに可換なので、規格化されたこれらの同時固有状態 $|j_1j_2;jm\rangle$ を考えるのも自然である:
- (9) $J_a^2|j_1j_2;jm\rangle = j_a(j_a+1)\hbar^2|j_1j_2;jm\rangle,$
- (10) $J^2|j_1j_2;jm\rangle = j(j+1)\hbar^2|j_1j_2;jm\rangle,$
- $(11) \quad J^z|j_1j_2;jm\rangle = m\hbar|j_1j_2;jm\rangle.$

これらの 2 つの基底は, unitary 行列で結ばれる.

- (12) $|j_1j_2;jm\rangle = \sum_{m_1} \sum_{m_2} |j_1j_2;m_1m_2\rangle\langle j_1j_2;m_1m_2|j_1j_2;jm\rangle$
- 行列 $\langle j_1 j_2; m_1 m_2 | j_1 j_2; jm \rangle$ の成分を Clebsch-Gordan 係数という.
 - 1. 選択則 $\langle j_1 j_2; m_1 m_2 | j_1 j_2; jm \rangle \neq 0 \Rightarrow m = m_1 + m_2$. を示せ.
- Hint. 演算子 $J^z J_1^z J_2^z = 0$ を適当な状態ではさむ.
 - 2. 具体例として, $j_1 = \ell \in \mathbf{Z}, j_2 = s = 1/2$ という, 電子の軌道角運動量とスピン角 運動量の合成を考える. Clebsch-Gordan 係数が zero にならないような j の値は何か. その各々について, Clebsch-Gordan 係数が zero にならないような (m_1, m_2) -平面に図示せよ.

Hint. $\langle j_1 j_2; m_1 m_2 | j_1 j_2; jm \rangle \neq 0 \Rightarrow |j_1 - j_2| \leq j \leq j_1 + j_2$.

参考文献

- [1] 中嶋, 吉岡, 例解 量子力学演習, 物理入門コース / 演習 3 (1991) 岩波書店.
- [2] 中嶋, 量子力学 II, 物理入門コース 6 岩波書店.
- [3] 小出, 量子力学 (II) (改訂版), 基礎物理学選書 5B(1990), 裳華房.
- [4] L. I. Schiff, Quantum Mechanics, 3rd edition, McGraw-Hill (1968). 訳書は吉岡書店.
- [5] J. J. Sakurai, Modern Quantum Mechanics, Benjamin (1985). 訳書は吉岡書店.